

氏名	小澤 昭彦	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	職業リハビリテーション、リハビリテーション心理学				
学位	博士（学術）				
学歴	1989年東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程、1993年日本大学大学院（博士前期課程）文学研究科心理学専攻、2002年筑波大学大学院（修士課程）教育研究科、2009年首都大学東京大学院（博士後期課程）人間健康科学研究科				
経歴	1993年日本障害者雇用促進協会職員、2003年独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構職員、2010年岩手県立大学 社会福祉学部准教授、2018年岩手県立大学社会福祉学部教授、2023年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本精神障害者リハビリテーション学会、日本カウンセリング学会、日本保健科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績									
(1) 著作									
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名		発行等年月	
1	保健医療福祉のアントレプレナーシップ 第8章 誰も取り残さない共生社会を目指して—ソーシャルワークを社会的起業の視点から再考する—	共著	あり	前田印刷、93		小澤昭彦 上原栄一郎・久保田富夫（編）		2026.3	
(2) 論文									
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名		発表等年月	
1	該当なし								
(3) 学会発表									
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）			発表等年月	
1	該当なし								
(4) その他									
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）			発表等年月	
1	該当なし								
2. 競争的資金等の研究									
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1	該当なし								
3. 教育業績									
(1) 講義									
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）					
1	精神保健学	○	15	精神保健福祉士の国家試験の過去問を使用したり、実際の事例として動画をういたりして、学生の学びが深まるように努めた。					
2	精神障害リハビリテーション論	○	15	リカバリー志向の理念が具体的な実践と結びついて理解できるように、出典元の資料や動画の活用にも努めた。					
3	ヒューマンケア論	○	15	全学の科目責任者として、科目の運営に関する全学の円滑な連絡調整を図った。					
4	保健医療福祉とリハビリテーション	○	7	障害者権利条約やリハビリテーションの4領域について取り上げることで、広範かつ多面的な視野が学生に身につくように努めた。					
(2) 演習									
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）					
1	ソーシャルワーク演習Ⅳ		15	学生の理解の状況を適宜確認しながら演習を進め、提示した課題について学生が自ら考え、言語化できるように努めた。					
2	社会福祉基礎演習Ⅰ		15	科学的根拠に基づいた精神的健康の維持・増進の支援方法を学べるように、文献の内容と学生自身の経験を結びつけることを意識した。					

3	社会福祉基礎演習Ⅱ		15	文献クリティークを通じて、学生が論文の読み方を習得できるように、基礎的な用語の解説や既に学習した内容との関連づけを行った。	
4	社会福祉基礎演習Ⅲ		16	文献レビューの基本的な進め方が身につくように、文献レビューの基礎知識の提供に加えて、好事例や先進事例の提供を行った。	
5	社会福祉基礎演習Ⅳ		15	文献レビュー論文の作成方法について、社会福祉学分野だけでなく、他分野（例：心理学）の参考情報を可能な限り学生と共有した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		15	学生が、実習に対する疑問点をグループワークを通じて自ら解決できるように、カウンセリング技法を参考に共感的に関わった。	
2	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		15	学生が、実習に対する疑問点をグループワークを通じて自ら解決できるように、カウンセリング技法を参考に共感的に関わった。	
3	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		15	学生が、実習に対する疑問点を自ら解決するだけでなく、他の学生にも積極的に助言できるように、カウンセリングの手法を活用した。	
4	精神保健福祉援助実習Ⅰ		2025年7月～9月	精神科ソーシャルワークにおけるマイクロ・メゾレベルの視点を学生が得られるように、巡回指導で学生に助言した。	
5	精神保健福祉援助実習Ⅱ		2025年8月～9月	精神科ソーシャルワークにおけるマイクロ・メゾ・マクロレベルの視点を学生が得られるように、巡回指導で学生に助言した。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2025.4～2026.3	主指導 1名	副指導 0名
2	博士論文		2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 2名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称			委員等の名称	任期
1	春日部市障害者計画等審議会			会長	2023.7～2026.6
2	越谷市社会福祉審議会 障害者福祉専門分科会			会長	2024.5～2027.5
3	越谷市社会福祉審議会（全体会）			大会長	2024.5～2027.5
4	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構			障害者雇用納付金関係助成金助成審査委員会委員	2025.4～2027.3
5	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構			第45回全国障害者技能競技大会授賞選考委員会委員	2025.9～2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称			内容	年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等		内容	期間
1	該当なし				

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学部入試委員会	2023.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会	2023.4～現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試評価分析部会 部会長	2024.10～現在
4	学科等における委員会等	社会福祉子ども学科学科長	2025.4～2027.3
5	学科等における委員会等	社会福祉子ども学科カリキュラム検討ワーキンググループ	2024.4～現在
6	学科等における委員会等	社会福祉学専攻カリキュラム検討ワーキンググループ	2024.4～現在
7	大学広報活動	オープンキャンパスへの参加（2回）	2025.6～2025.8
8	大学広報活動	高校訪問への参加（1回）	2025.6
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		